

2020年4月13日

会員各位

公益社団法人東三河地域研究センター

新型コロナウイルス感染拡大予防措置に伴うテレワーク実施のお知らせ

公益社団法人東三河地域研究センターでは、4月10日の愛知県による「新型コロナウイルス完成症 愛知県緊急事態宣言」の発出を受け、新型コロナウイルスの感染拡大を予防し、当センター職員、および会員企業、団体様はじめ関係者の皆さまの健康・安全面を第一に考慮した結果、2020年4月13日から2020年5月6日（予定）までの期間、業務内容に応じたテレワーク（リモートワーク）による在宅勤務を実施いたします。また、社内外の打ち合わせではWeb会議システムの活用を進めていきます。

今後の感染拡大の状況次第でその都度、対策内容の見直しを行ってまいります。関係者の皆様におかれましては、当センター主催のセミナー開催の延期・中止、メール対応、Web会議の調整など、ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

■テレワークによる在宅勤務のシステム

現在、当センターではWindowsServer2012Essをサーバーとして利用し、自宅や外出先から社内PCへアクセスできる環境を整備しました。会員企業様も同じような状況にあるかと思いますが、一例として参考にしていただけると幸いです。

■遠隔会議ツールのご紹介

遠隔会議のツールとして「Zoom ミーティング」「Cisco Webex」「Microsoft Teams」「Google ハングアウト」等を利用しています。これらは、従業員に対してライセンスは発行しておらず無料版の範囲で利用しています。また、遠隔会議では音声環境が重要との意見があります。スタジオのような専用会議室を有しているのがベストですが、当センターはそのようなハードが無いため、PC内蔵のマイクまたは、外付けのイヤホン・ヘッドホンを活用しています。iPhoneやスマートフォンに付属するイヤホンマイクの利用でも支障なく利用できると思います。

最後に、テレワーク、オンライン会議システムの活用では、セキュリティ対策が重要になります。テレワークでアクセスできる情報範囲等のルールなどを決め、社内システム管理者とご相談のうえ最適で安全なテレワークをご検討されることをお願い申し上げます。

問い合わせ：公益社団法人東三河地域研究センター 調査研究室長 高橋大輔